

# グラフでみる加工食品の 生産・販売、外食等の指標



## 目次

### <グラフでみる生産販売統計>

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

### <今月のトピック>

- ・外食・中食の市場規模



# 1. 加工食品の生産動向

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。

ここでは、加工食品のうち、特コロナ禍で変動の大きい品目の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

なお、詳細は、<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>

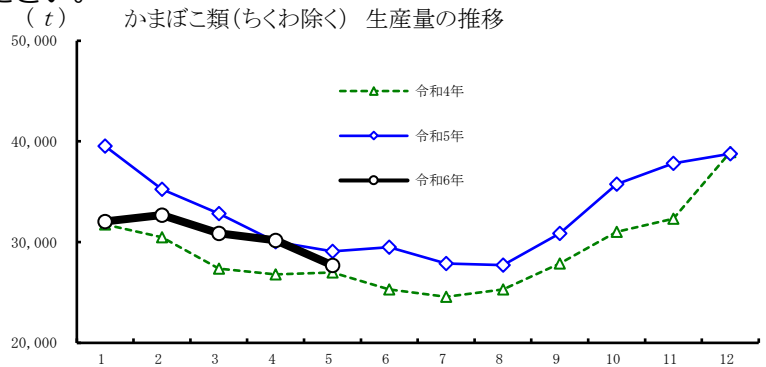
「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

## ○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比

**5月 4.8% 減少**

令和元年同月比 2.4% 増加

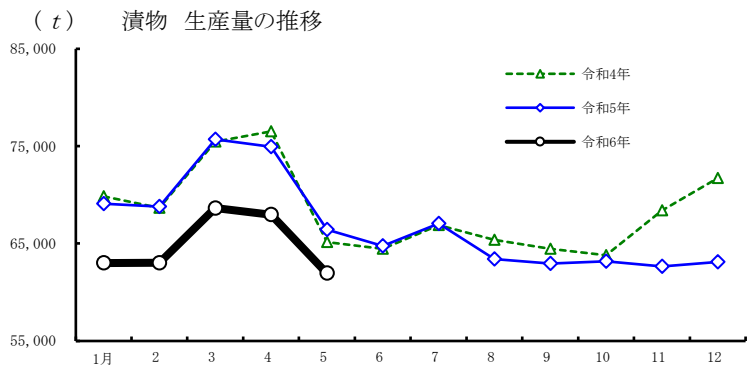


## ○ 漬物

生産量 対前年同月比

**5月 6.7% 減少**

令和元年同月比 4.4% 増加

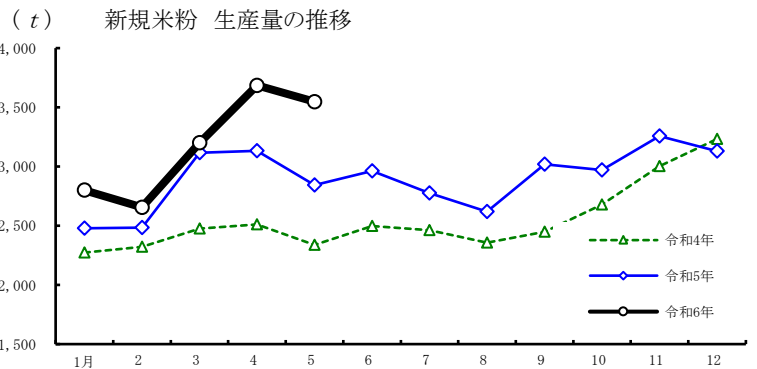


## ○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

**5月 24.7% 増加**

令和元年同月比 57.4% 増加

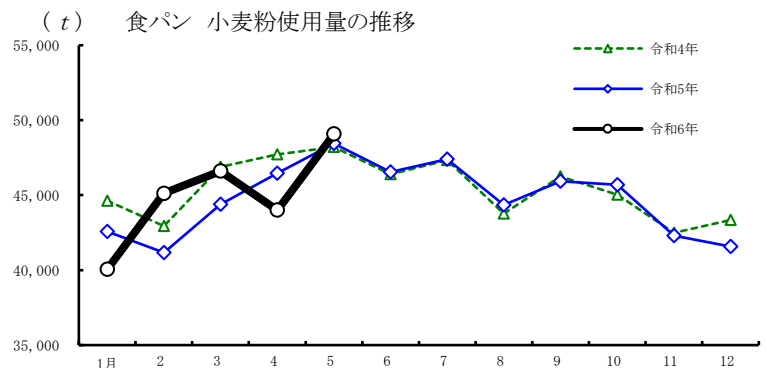


## ○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

**5月 1.3% 増加**

令和元年同月比 5.8% 減少



# 1. 加工食品の生産動向

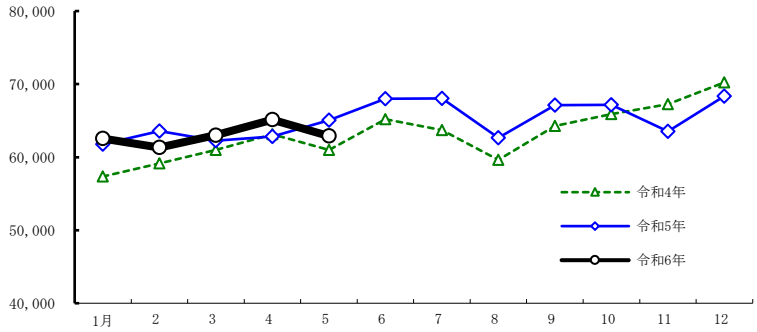
## ○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

**5月 3.3% 減少**

令和元年同月比 9.4% 増加

(t) 生めん類 小麦粉使用量の推移



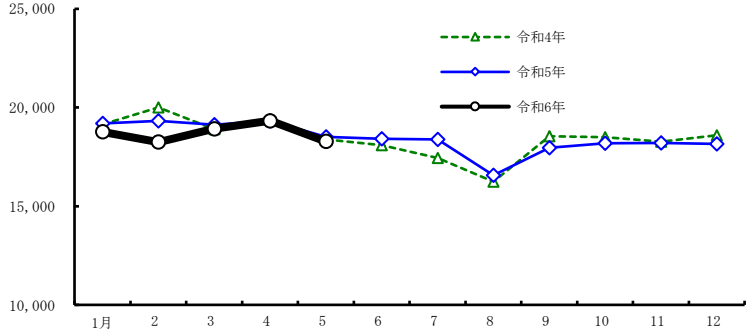
## ○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

**5月 1.2% 減少**

令和元年同月比 0.1% 減少

(t) カップめん 小麦粉使用量の推移



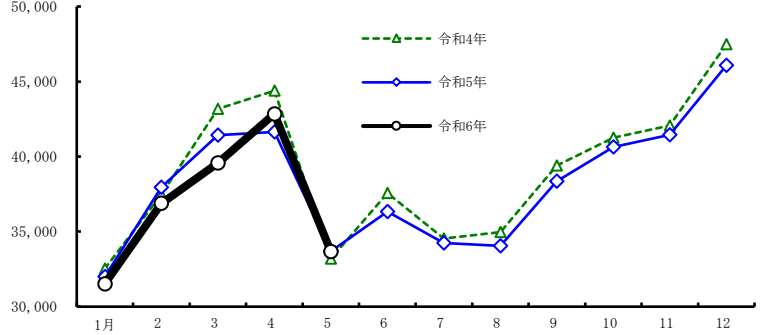
## ○ 味噌

生産量 対前年同月比

**5月 0.1% 減少**

令和元年同月比 4.4% 減少

(t) 味噌 生産量の推移



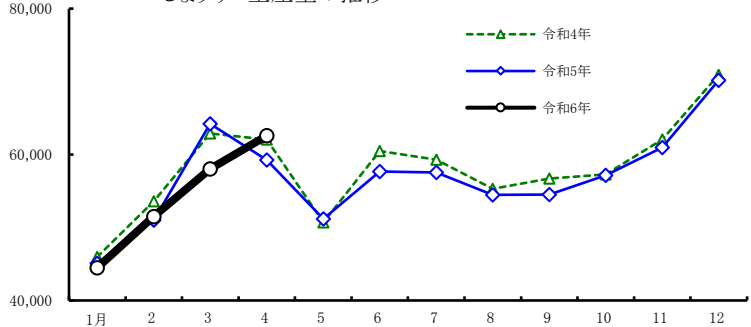
## ○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

**4月 5.6% 増加**

令和元年同月比 11.9% 減少

(kl) しょうゆ 生産量の推移



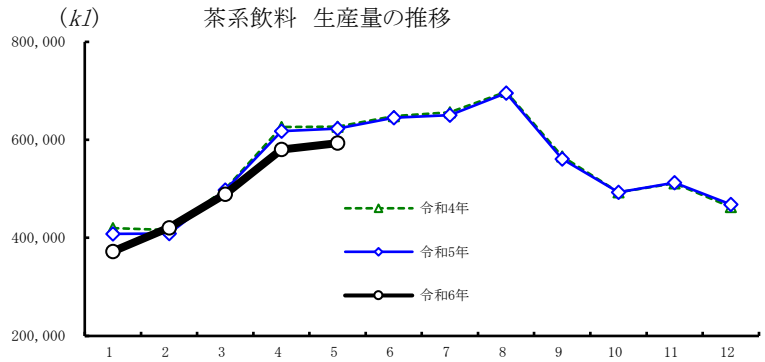
# 1. 加工食品の生産動向

## ○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

**5月 4.8% 減少**

令和元年同月比 **8.9% 減少**

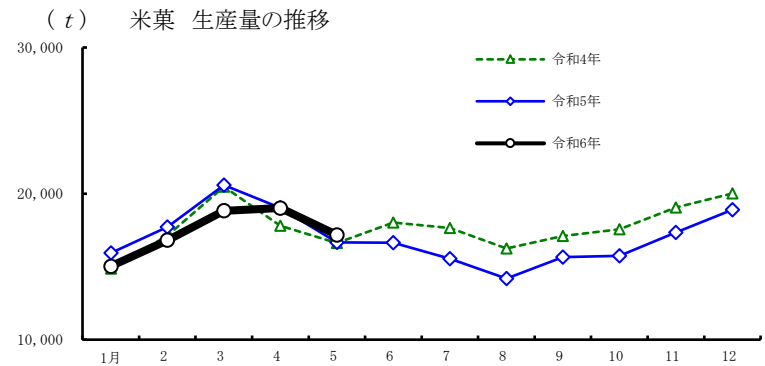


## ○ 米菓

生産量 対前年同月比

**5月 3.1% 増加**

令和元年同月比 **2.5% 減少**

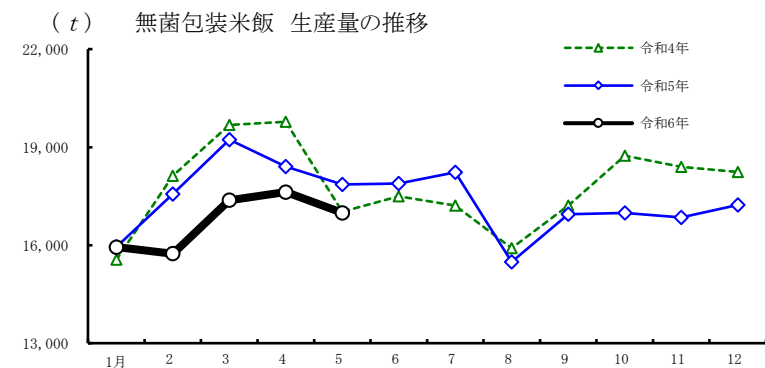


## ○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

**5月 4.9% 減少**

令和元年同月比 **27.6% 増加**

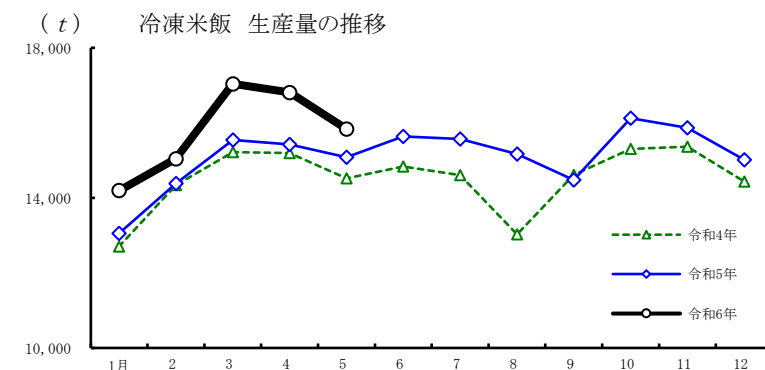


## ○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

**5月 5.0% 増加**

令和元年同月比 **18.0% 増加**



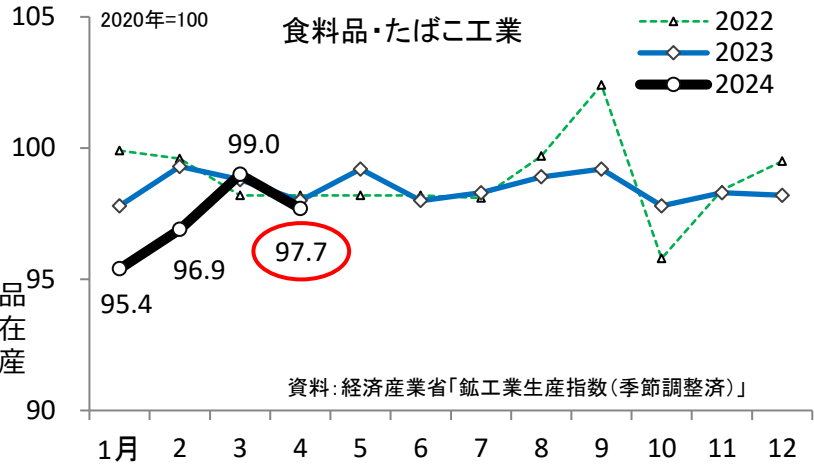
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向  
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

4月 0.3% 減少

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



2. 食品卸売業・食品小売業

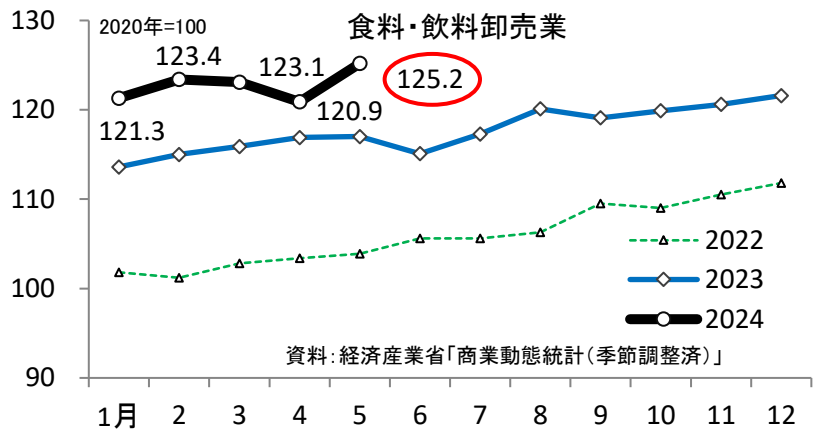
○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

5月 7.0% 増加

2019年同月比 20.0% 増加

経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別(スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高(月次速報)について、みることができます。

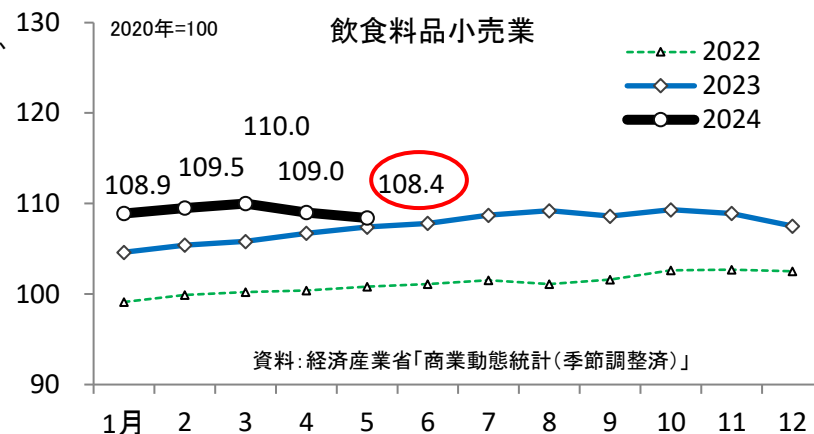


○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

5月 0.9% 増加

2019年同月比 9.3% 増加

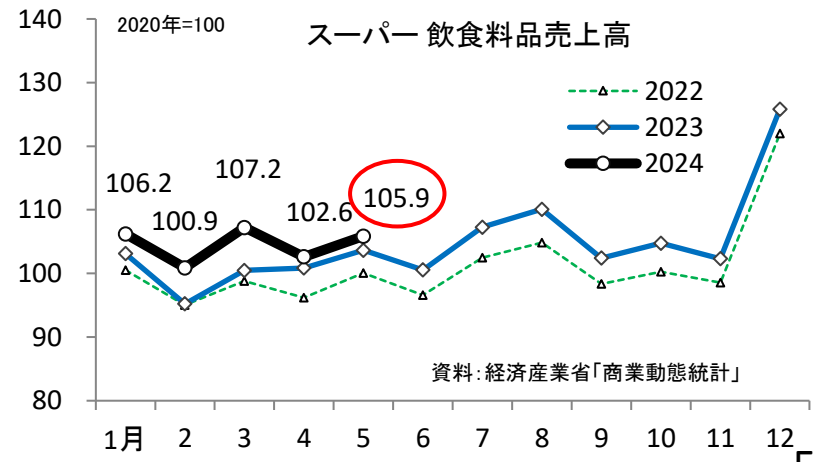


○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

5月 2.2% 減少

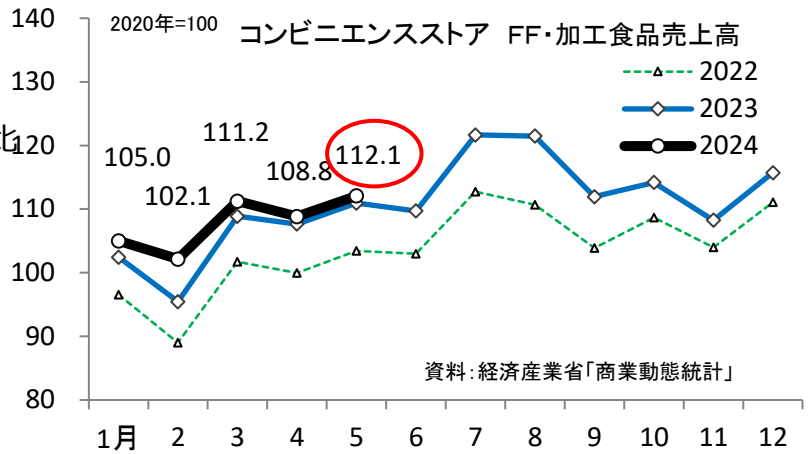
2019年同月比 30.3% 増加



## 2. 食品卸売業・食品小売業

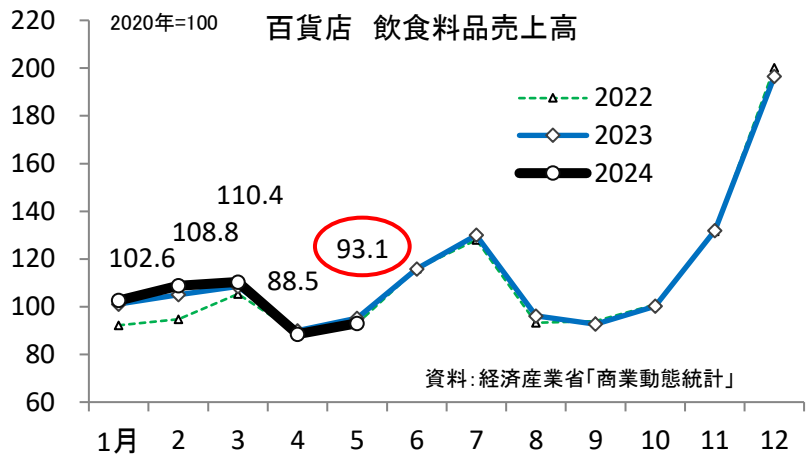
### ○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比  
**5月 1.0% 増加**  
 2019年同月比 3.3% 増加



### ○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比  
**5月 2.2% 減少**  
 2019年同月比 14.2% 減少

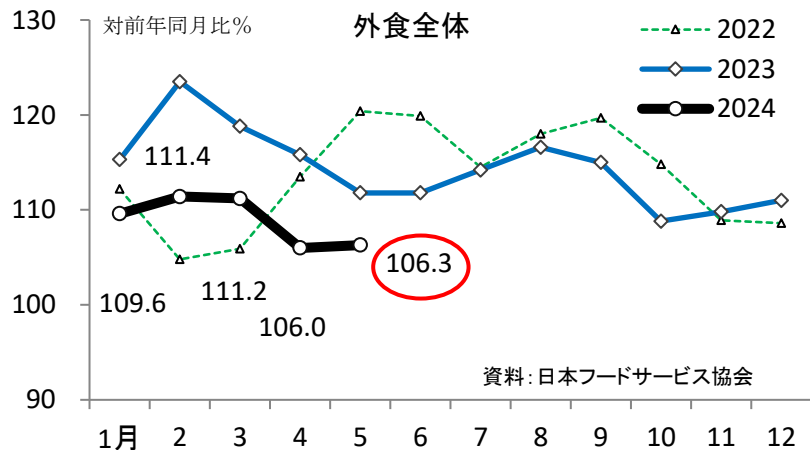


## 3. 外食産業

一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

### ○ 外食全体

全店売上高 対前年同月比  
**5月 6.3% 増加**  
 2019年同月比 15.0% 増加



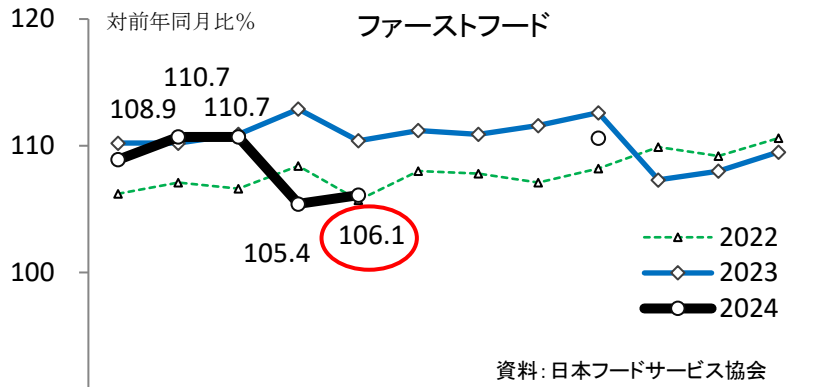
### 3. 外食産業

#### ○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比

**5月 6.1% 増加**

2019年同月比 27.7% 増加

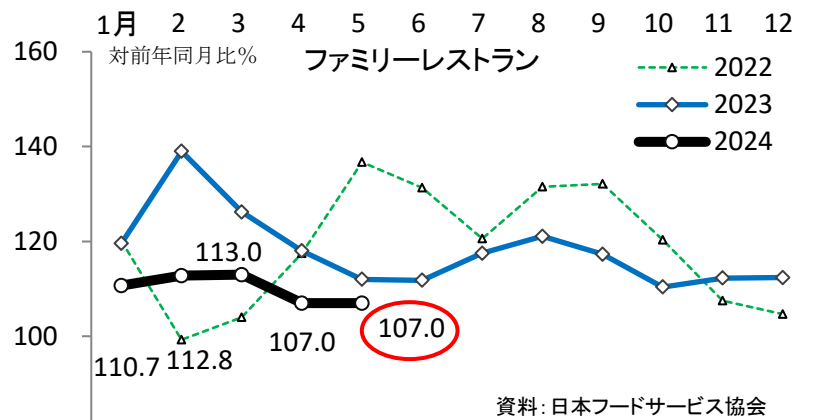


#### ○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比

**5月 7.0% 増加**

2019年同月比 5.5% 増加

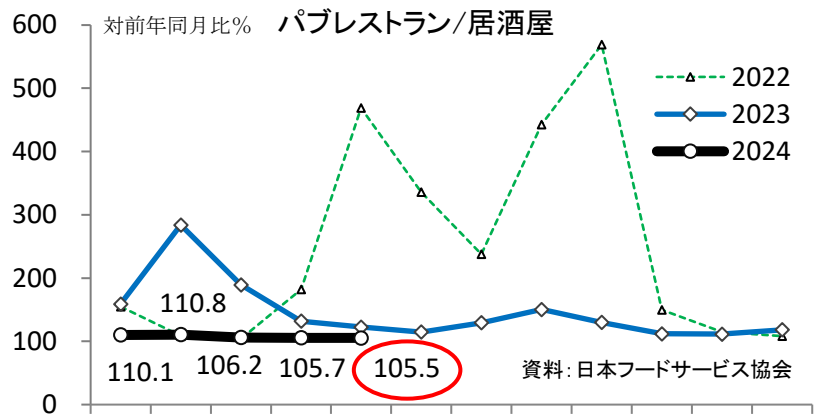


#### ○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比

**5月 5.5% 増加**

2019年同月比 28.3% 減少

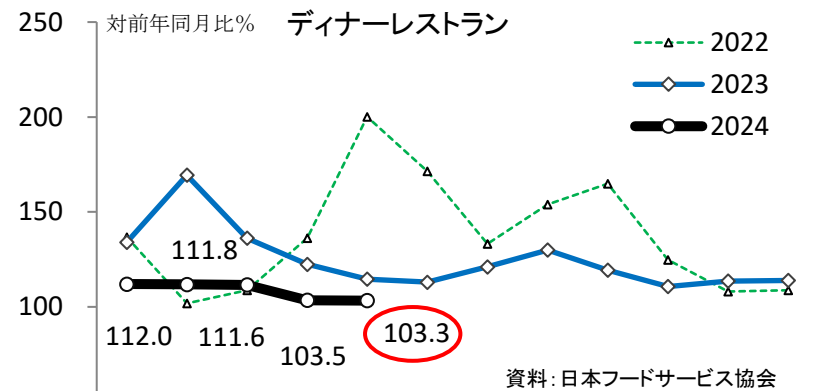


#### ○ デイナーレストラン

全店売上高 対前年同月比

**5月 3.3% 増加**

2019年同月比 0.5% 増加



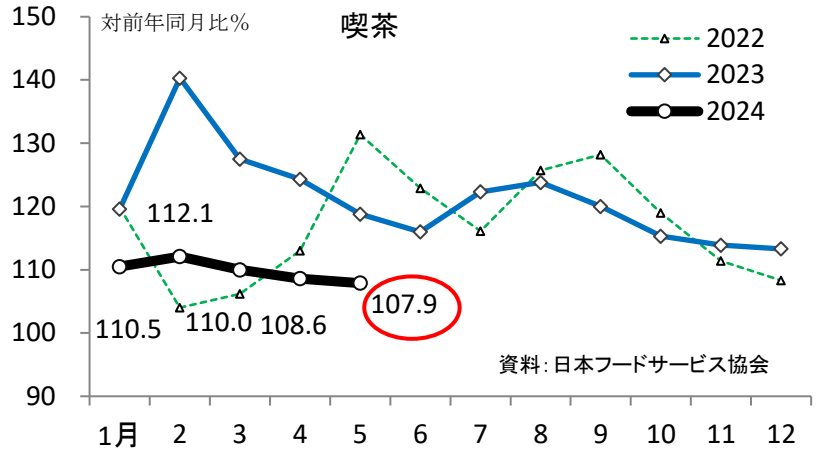
### 3. 外食産業

#### ○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比

**5月 7.9% 増加**

2019年同月比 14.5% 増加



### 4. 食料品の物価

#### ○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2015年）の価格を100として、指数化したもの。

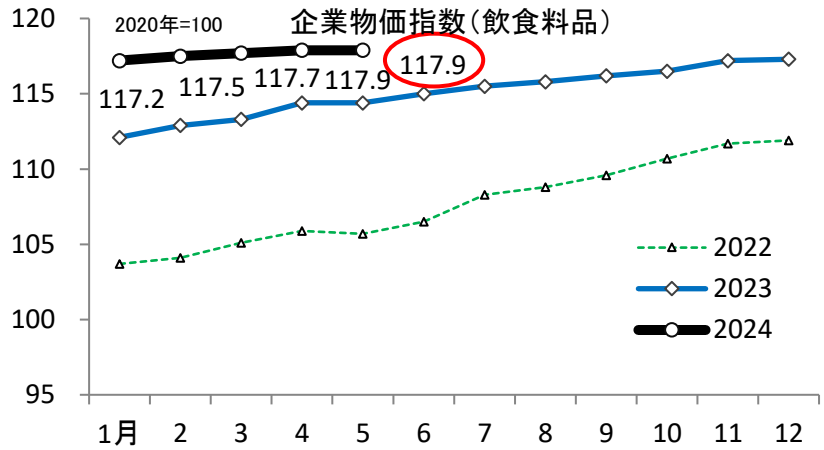
このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

#### ○ 企業物価指数 （飲食料品）

飲食料品 対前年同月比

**5月 3.1% 上昇**



#### ○ 消費者物価指数

消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

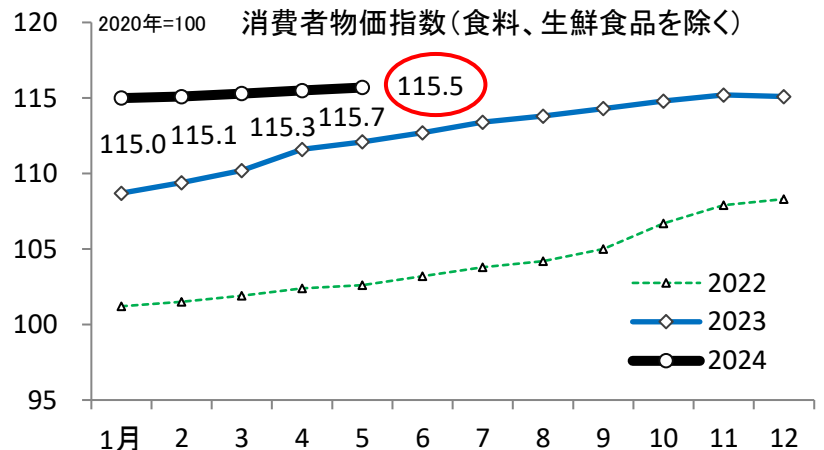
このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

#### ○ 消費者物価指数 （食料（生鮮食品除く））

食料 対前年同月比

**5月 3.2% 上昇**

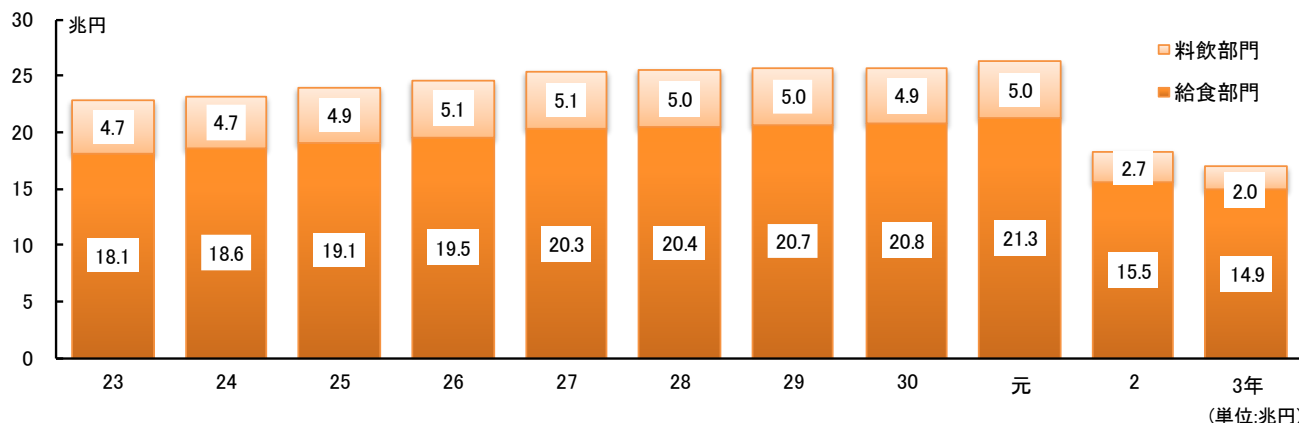




## 令和3年の外食産業市場規模は、対前年比▲6.9%とかなりの程度減少

令和3年の外食産業の市場規模は、公益財団法人食の安全・安心財団「外食産業市場規模推計」によれば、16兆9,494億円で対前年比▲6.9%とかなりの程度減少した。内訳についてみると、給食部門が14兆9,048億円で対前年比▲4.0%とやや減少、料飲部門も2兆446億円で同▲23.3%と大幅に減少しており、新型コロナウイルス感染症の打撃が大きかったことを示している。

図1 外食産業の市場規模の推移



	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3年
給食部門	18.1	18.6	19.1	19.5	20.3	20.4	20.7	20.8	21.3	15.5	14.9
料飲部門	4.7	4.7	4.9	5.1	5.1	5.0	5.0	4.9	5.0	2.7	2.0
外食 計	22.8	23.2	24.0	24.6	25.4	25.5	25.7	25.7	26.3	18.2	16.9

資料:公益財団法人食の安全・安心財団「外食産業市場規模推計」

## 令和5年の外食チェーン全体の売上は対前年比でかなり大きく増加し、令和元年の水準に回復

外食チェーン企業の令和5年売上高は、一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業動向調査」によれば、全体では対前年比14.1%とかなり大きく増加し、コロナ禍前の令和元年度比8.2とかなりの程度の増加となった。業態別にみると、ファーストフードが対前年比10.4%とかなりの程度増加、ファミリーレストランは同17.5%とかなり大きく増加、パブレストラン/居酒屋は同34.9%と大幅に増加、ディナーレストランは同22.7%と大幅に増加、喫茶は同20.6%と大幅な増加となった。コロナ禍前の令和元年比では、ファーストフードが大幅に増加し、ファミリーレストラン、ディナーレストラン、喫茶は回復しつつある。しかし、パブレストラン/居酒屋令和元年の水準には回復していない。

表1 外食産業の業態別売上動向の推移

単位: %

	売上高(平成元年=100)					対前年増減率 %				
	元	2	3	4	5年	元	2	3	4	5年
計	100.0	84.9	83.7	94.8	108.2	1.9	▲ 15.1	▲ 1.4	13.3	14.1
ファーストフード	100.0	96.3	100.9	108.9	120.3	3.4	▲ 3.7	4.8	7.9	10.4
ファミリーレストラン	100.0	77.6	71.3	84.1	98.9	0.3	▲ 22.4	▲ 8.2	18.1	17.5
パブレストラン/居酒屋	100.0	50.5	29.1	52.7	71.2	▲ 1.1	▲ 49.5	▲ 42.2	80.9	34.9
ディナーレストラン	100.0	64.3	57.8	76.1	93.4	1.5	▲ 35.7	▲ 10.1	31.7	22.7
喫茶	100.0	69.0	69.1	80.7	97.3	2.6	▲ 31.0	0.1	16.8	20.6
その他	100.0	78.9	78.0	94.7	111.3	▲ 3.6	▲ 21.1	▲ 1.2	21.4	17.5

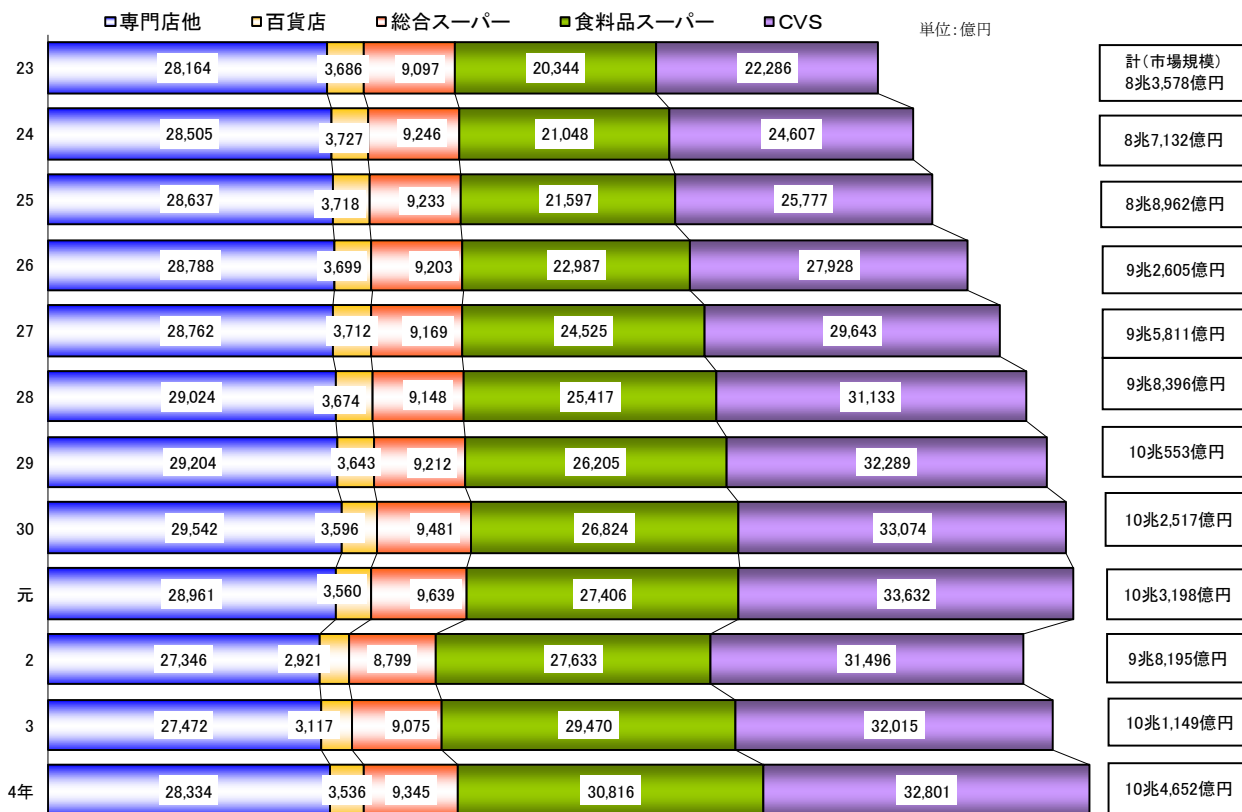
資料:一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

## 令和4年の惣菜市場規模は対前年比でやや増加

惣菜市場規模は、一般社団法人日本惣菜協会「惣菜白書」によれば、令和4年販売額は10兆4,652億円で対前年比3.5%とやや増加となった。惣菜市場は令和2年の新型コロナウイルス感染症の影響から、大きく落ち込んだが、令和4年は令和元年の水準に回復している。

業態別にみると、令和4年は、百貨店が対前年比13.4%とかなり大きく増加、食料品スーパーは同4.6%とやや増加した。また、専門店他は対前年比3.1%とやや増加、総合スーパーも同3.1%とやや増加、CVSも同2.5%とわずかに増加となった。

図2 惣菜市場規模の推移（令和4年）

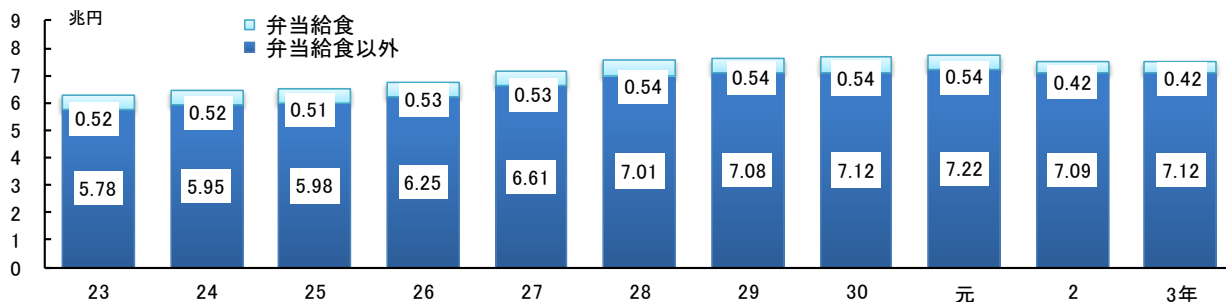


資料：一般社団法人日本惣菜協会「惣菜白書」

## 令和3年の料理品（惣菜・弁当）小売業販売額はやや減少

惣菜・弁当の料理品小売業における令和3年販売額は、食の安全・安心財団「外食産業市場規模推計」によれば、7兆5,357億円で対前年比▲0.3%と前年並みとなった。うち、弁当給食以外が7兆1,161億円で対前年比▲0.3%、弁当給食も4,196億円で同▲0.3%と前年並みとなった。

図3 料理品小売業の市場規模の推移



資料：公益財団法人食の安全・安心財団「外食産業市場規模推計」